

伝統薬の歴史に関する研修

春日大社 萬葉植物園と漢方薬局の見学研修：5月24日 生薬部会

春日大社萬葉植物園は、昭和7年に萬葉集にゆかりの深い春日野の地に昭和天皇の御下賜金をいただき、約300種の萬葉植物を植栽する、我国で最も古い萬葉植物園として開園されました。

現在は山野にいのちを芽生えさす草木もなるべく人的な手を加えず、自然のままに生かし、『春日大社神苑 萬葉植物園』として親しまれています。

約3ヘクタール(9,000坪)の園内は、萬葉園・五穀の里・椿園・藤の園に大きく分けられ、萬葉園内の万葉集で謳われている古来植物(生薬など)を観察してきました。



また、元暦元年(1184年)より24代の間、薬業に関わり、室町時代からは朝廷より南都官府衆徒の重職に任ぜられ、代々春日大社、興福寺の守護と、奈良の町の治安とに当たる傍ら薬学を研究し、多くの病人に施薬してきた伝統ある菊岡漢方薬局(奈良市)の見学を通じて漢方薬の歴史に触れてきました。

